

より良い運行のため

市内循環バスのご意見募集

現在運行している市内循環バスは、平成21年4月1日に大幅な改正を行い、豊栄・吉田循環、飯高・匠瑛循環、豊和・椿海循環、平和・共興循環、野田・須賀東循環、栄・須賀西循環の6路線を1日6便、運賃は一律200円の体系で平日運行しています。

市では、市内循環バスについて皆さんからのご意見を募集します。住所・氏名・電話番号を明記の上、ハガキやFAX、電子メールで9月30日(水)までにお送りください。

送付・問い合わせ：(〒289-2198 匠瑛市八日市場ハ793番地2) 環境生活課市民生活班 ☎73・0088、FAX72・1116、メール k-shimin@city.sosa.lg.jp

9月9日～17日に開催

広島・長崎被爆写真展

被爆体験を次の世代に継承し、原爆・核兵器の被害者を再びつぐらないために、次の通り「広島・長崎被爆写真展」を開催します。

日時：9月9日(水)～17日(木) 8時30分～17時15分(土・日除く) 場所：市役所本庁玄関ロビー
問 総務課庶務班 ☎73・0084

新米のおにぎりをサービス

9月9日の日曜朝市

毎週日曜日、市役所南側駐車場で行われている日曜朝市では、9月6日(時間は7時から30分程度)、新米のおにぎりをサービスします。採れたての新鮮な農産物なども用意していますので、ぜひご来場ください。

問 産業振興課農政班 ☎73・0089

短歌

土屋 耕一 推薦

雨後の雫滴る葉の中にひとしお鮮やか紫陽花の白

大浦 椎名かね子

拇指に刃の立つ見つ鎌を研ぐ八十路の母の鎌の切れ味

八日市場イ 椎名 昭雄

わが家に十二年となる愛犬の涙拭きやるじっとしるるを

西小笹 伊藤 英子

空に聞く雲雀の囀り見上げおれば黒き一点我が目に写る

時曾根 南波 鹿子

刈りたての芝に朝露光る中ひ孫と競うグランドゴルフ

内山 林 恒雄

ネジ花の異称とあるを辞書に見つ賜びし「もじずり」風情このもし

八日市場イ 中川いね子

嫁ぎきて武士の家系と知るわれは誇りを持ちて子らを育てぬ

平木 大木ヨシ子

雨露を凌げて三度の飯付きに老いの再犯解れど哀れ

八日市場イ 小泉 泰清

川口 城司 推薦

はじめての皆既日食老いて見しダイヤモンドリング脳裏にきざむ

野手 大木 政子

葉を伏せて地を這へるこの雑草も炎暑の中をひたすら生きむ

新堀 押本富美子

炎天の庭に干したる蒺大豆地下足袋を履き踏みほぐしたり

栢田 渡辺 重雄

俳句

西野 棠雨 推薦

析の音の杉籾して祭了ふ

八日市場ハ 大川 宜子

涼しさの山の起伏に雲睦み

八日市場ニ 中川まさ子

図書館だより



休館日…9月3日(木)・22日(火)・毎週月曜日
祝日開館日…9月23日(水) 9時～17時
日曜日の開館時間…9時～17時

◆上半期予約ベスト

今年八日市場図書館で30回以上予約があった本

『運命の人1』『運命の人2』『運命の人3』…山崎豊子著(文藝春秋全4巻)『告白』…湊かなえ著(双葉社)『流星の絆』…東野圭吾著(講談社)『1Q84 BOOK1』『1Q84 BOOK2』…村上春樹著(新潮社)『悼む人』…天童荒太著(文藝春秋)『聖女の救済』…東野圭吾著(文藝春秋)『ハリイ・ポッターと死の秘宝 上』『ハリイ・ポッターと死の秘宝 下』…J.K.ローリング著(静山社)『パラドックス13』…東野圭吾著(毎日新聞社)『英雄の書 上』『英雄の書 下』…宮部みゆき著(毎日新聞社)『八日市場の土に生きる聞き書き 椿もとの生活史』…岩本紀子編(自費出版)『ガリレオの苦悩』…東野圭吾著(文藝春秋)『剣岳』…新田次郎著(文藝春秋)

◆敬老の日読書のすすめ

老後をどう過ごすかのエッセーや趣味の本、読んで楽しめる小説などの推薦図書に掲載したリーフレットをカウンターに設置していますので、読書の参考に活用してください。

◆9月の「おはなし会」開催日

5・12・19・26(土) 15時から約30分間

アドレス <http://www.library.sosa.chiba.jp>

問 八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

文芸コーナー

芭蕉の句碑

俳諧の広まり

匠探訪

-41-

「名月や池をめぐりて夜もすがら」。

俳人・松尾芭蕉が46歳の時、1686年(貞享3年)「十五夜」の句会で詠んだものとされています。

この句碑が内山(豊和地区)妙廣寺境内にあります。芭蕉の151回忌にあたる1844年(天保15年)に同村の飯田左内らこの地域の俳人10人によって建てられました。

市内にはこの碑をはじめ江戸時代のもの5基を含め、13基の芭蕉句碑が見つかります。



妙廣寺境内にある芭蕉の句碑(豊和地区内山)

妙廣寺の句碑が建てられた翌年(1845年・弘化2年)3月に記念句集『月見塚集』がまとめられました。この句集には全国の俳人から寄せられた605句がおさめられ、地域の15か村・55人の名も見られます。内山村は9人で最も多く、飯高村7人、平木村

5人、椿村5人と続きます。しかし、句碑や句集には村名と俳号が記されているだけで、人物の特定や経歴を知る手がかりにはなりにくいといえます。

富裕層の農民の間で俳諧が急速に広まった要因として、江戸の宗匠(そうしよう)俳諧の師匠(あんぎゃ)が各地に行脚(あんなぎゃ)し門下を拡大していったことで地方的な宗匠も生まれたことがあげられます。その宗匠のもとにグループ(連)が結成され、地域的な広がりをみせました。芭蕉の句碑建立に尽くした内山村の飯田左内も宗匠的な存在だったのでしよう。

飯田の前に宗匠であったとされる安久山(飯高地区)の木下兼治が中心で建てたとみられる句碑は、1800年ごろのものとしています。このときにも記念句集『揺松(ゆるぎまつ)集』が出版され、市域からも80余人が投句しました。

こうした句碑や句集により江戸時代後期には、この地域でも庶民の間で俳諧がかなり広まっていたことが知られます。

問八日市場図書館 ☎73・3746

水かぶるたびに大揺れ荒神輿
父と子と宇宙の話夕涼み
夏落葉音なく水輪つくりけり
つば広帽ななめ被りの西日除け
瓜漬は母の使ひし石を載す
総門へ登る石段夏落葉

若潮町 石毛 浩子
上谷中 大田三樹夫
横須賀 岩井 やす
大堀 椎名 よね
飯高 安藤 建子
登戸 伊藤 さく

川口 城司 推薦

藤房の暮色に溶けてゆきにけり
海の上涼しげにパラグライダー
ひそやかに風鈴が鳴るほどの風

野手 山口 静堂
堀川 高野 操
川辺 大木 竹子

川口 城司 推薦

湯けむりにかすんで見える旅の友
ゆるやかに川は流れる絶え間なく
優勝へ懸ける気迫が逞しく
友人に係わり過ぎて多事多難
憧れと夢を誘なう都会の灯
一旦は都会へ出たい地方の子
頂点が集う都会に憧れる
真夏日も東京砂漠人溢れ

蕪里 安藤 睦子
平木 鶴澤 教子
八日市場イ 森 あつし
八日市場イ 常世田やす子
八日市場イ 伊藤さとこ
飯塚 鈴木ツネ子
八日市場イ 鈴木十世志

高梨 果宝 推薦

川柳

あて先： 匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪

匠探訪